天文情報誌 Vol. 313 2021年7月 号

## ほしぞら

発行 コニカミノルタ サイエンスドーム

協力:株式会社 東急コミュニティー



## 太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

日付(曜日) 日の出 月の形 日の入 ▼情報 天文現象 暦(こよみ)	1 (木) 04:28 19:05	2 04:29 19:05 下弦	3 04:29 19:05	4 (日) 04:30 19:04	5 (月) 04:30 19:04 ☆水星が西方 最大離角 日の出直前の 東の空で、観 望のチャンス	6 (火) 04:31 19:04	7 04:31 19:04 小暑 七夕 (太陽の黄経が 105°になる)	8 (木) 04:32 19:04 (東の空で細い月 と水星が接近	9 04:32 19:03	10 (土) 04:33 19:03 新月
11 (日) 04:33 19:03 ★生解説プラ ネタリウム 「夏の星空散 歩」		13 (火) 04:35 19:02 タ方、西の空で火星と前後 合わせて10日ほど接近)	14 (水) 04:35 19:01	15 (木) 04:36 19:01	16 (金) 04:37 19:00	17 (土) 04:37 (19:00 上弦	18 (日) 04:38 18:59	19 04:39 18:59	20 (火) 04:39 18:58	21 (7k) 04:40 18:58
22 04:41 18:57 大暑 (太陽の黄経が 120°になる) 海の日	23 (金) 04:42 18:56 ( スポーツの日	24 (土) 04:42 18:56 満月 月と土星が接 近		26 (月) 04:44 18:54 月と木星が接 近	27 (火) 04:45 18:53 <b>)</b>	28 (水) 04:45 18:53	29 (木) 04:46 18:52	30 (金) 04:47 18:51	31 (土) 04:48 18:50 下弦	☆最大離角 内惑星(水星と金星)が、太陽から 星)が、太陽から 最も離れて見え る時のこと。西方 の時は、日の出前 の東の空で、東方 の時は、タ方西の 空で見やすくな る。

00 二十四

二十四節気とは、太陰暦(月のみちかけの周期を1か月とする暦法。旧暦。)を使用していた時代は暦と季節が少しずれるので、季節とずれない目印として考出されました。春分や夏至などを基準に1年を24等分し、区切りの日に名前をつけたものです。現在でも季節の節目に、これを示す言葉として使われています

小暑(しょうしょ)…梅雨明けが近く、本格的な暑さが始まる頃。集中豪雨のシーズン。蓮の花が咲き、蝉の合唱が始まる頃です。 大暑(たいしょ)…最も暑い頃という意味ですが実際はもう少し後のようです。夏の土用の時期。空には雲の峰が高々とそびえるようになります

## ~空にかかる大きな釣り針~

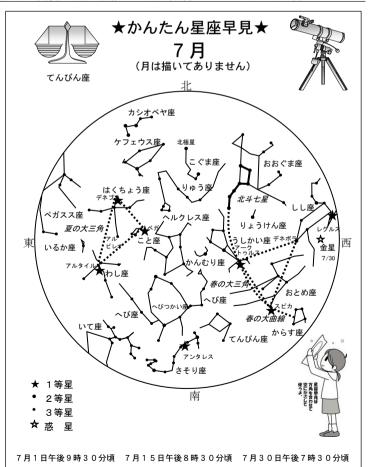
宵(よい)の頃、南の空の低いところに明るく輝く赤い星を見つける ことができます。さそり座の1等星アンタレスです。アンタレスは星の 色に由来(ゆらい)して「赤星(あかぼし)」や、「酒酔い星(さけよ いぼし)」といった和名で呼ばれることがあります。

アンタレスは、ちょうどさそりの心臓の辺りに輝きます。そこから西 の方角にはさそりの頭にあたる星が3つ縦に並び、反対の東の方角には 胴体から続く尻尾の星が連(つら)なります。星の並びが「釣り針」の 形に似ていることから、「魚釣り星(うおつりぼし)」や、「鯛釣り星 (たいつりぼし)」といった和名も伝えられています。



「釣り針」に見立てていたのは日本ばかりではありません。南太平洋 のポリネシアではこの釣り針で大きな島を釣り上げるお話が語りつがれ ています。釣り針が引っ張り上げたときの勢いで空に引っかかってしま い、釣り針の星座になったということです。

さそり座には比較的 (ひかくてき) 明るい星が多いため、八王子でも 空の暗い場所を選ぶと「釣り針」の形をたどることができます。山の中 のもっと暗い場所であれば、「釣り針」の背後(はいご)に淡く輝く天 の川も観測できるでしょう。釣り針の先は天の川に浸(ひた)っており 天の川に釣り糸を垂(た)れているかのようです。赤く輝くアンタレス を目印に空にかかる大きな「釣り針」を探してみてください。



★プラネタリウムイベント情報!(詳しくはホームページhttp://www.city.hachio.ji.tokyo..jp/shisetsu/003/p011705.htmlをご覧ください。

- ★生解説プラネタリウム「夏の星空散歩」 … 7月11日(日) 15:30~16:20 見ごろとなっている星や星座、天文現象などをたっぷりとお話します。 ★全編生解説プラネタリウム … 7月25日(日) 15:30~16:20 星空の解説とテーマ解説「こと座」 ★夏休み天文講座 … 7月31日(土) 10:30~11:20「グルグル回る星空のヒミツ」夏休みに観察できる星や月の動きなどをプラネタリウムで解説いたします。 ※土日祝と7/21からのプラネタリウムは事前予約制です。詳しくはホームページ等でご確認ください。